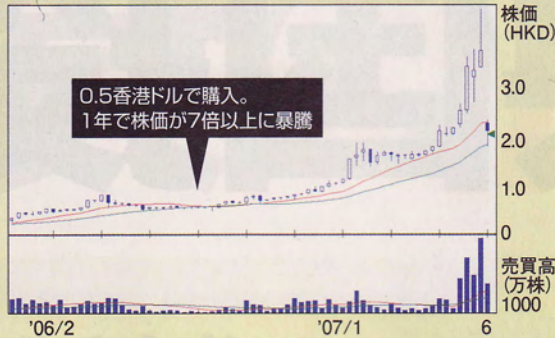


style 1 個別株でバリバリ攻める

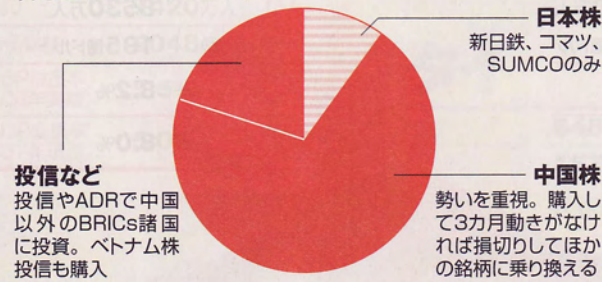
中国株の急騰に乗る

新城不動産(シンジョウフドウサン/上海B株900950)

週足チャート — 13 週移動平均線 — 26 週移動平均線



寺元さんのポートフォリオ



戦略 新興国の個別株に集中投資。攻めるか逃げるかをはっきり決める

新興国投資の勝ち方

こんなに
あるぞ

新興国投資といっても、その投資スタイルは様々。ハイリスク・ハイリターン of 集中投資から、まったり長期運用の投資法まで、4人の個人投資家の勝ち方を探った。

もう日本株には魅力を感じません——。そう力説するのは旅行会社に勤める寺元健太郎さん(36歳)。仕事柄、何度か訪れた中国の勢いを肌で感じ、3年前から中国株投資を始めた。現在は資産の約7割を中国株に投資している。新興国株の集中投資は危険ではないかと尋ねると、「むしろ日本株しか持っていない方が怖い」と意外な答え。「日本は少子高齢化が進み、いずれマイナス成長になる国。老後を考える、海外で運用して資産を殖やさなければいけないと感じます」

実際、寺元さんの戦略は大当た

りだった。インフラ株を中心に仕込んだ中国本土株が急上昇。ここ一年間で手持ちの銘柄はことごとく5倍以上に化けた。運用資金は約3000万円だが、「4月末は資産が毎日100万円ずつ殖え、怖いぐらいでした」と振り返る。日本株では考えられない爆発力が新興国投資の魅力だ。

しかし、寺元さんは中国が抱える政治などのリスクに不安を感じ、北京五輪の半年前には中国株から撤退することを決めていた。こうした割り切りが新興国投資で成功する秘訣なのだろう。

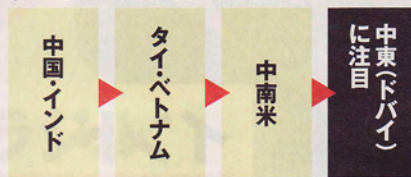
自らを「新興国投資オタク」と称するのは石田和靖さん(35歳)。

これまで、中国、タイ、ベトナムなど、様々な新興国に投資してきた。石田さんのモットーは、現地の金融機関に口座を開き、日本で買えない株や投信に一早く投資すること。「ほかの人が1万円ですることを、1000円で仕込むのが醍醐味です」

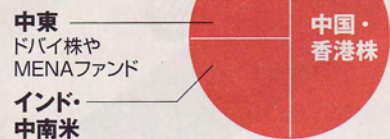
苦労するのは情報収集。投資をする際は、必ず現地の人に話を聞き、とことん調べることにしている。半面、売買自体は簡単だ。「その国の基幹となる産業を買って放置しておけばいい。日本株のように忙しく売買しなくてもいいので、ある意味簡単です」

style 2 未開の地を開拓

石田さんの投資歴



石田さんのポートフォリオ



戦略 現地に口座を開設していち早く投資。現地での情報収集が大切

目下、石田さんが注目しているのはドバイ。将来、中東諸国の通貨統合が実現すれば必ず伸びるに違いないとらむ。現在、日本とドバイを往復する日が続いている。

新興国投信を長期積み立てリタイア後の資産をつくる

一国集中投資や現地口座といったハイリスクな投資法ばかりが新

プロが教える新興国投資のキホン

実際に自分でも新興国投資を行っているというファイナンシャルプランナーの深野康彦さん。新興国投資の基本的な考え方を伝授してもらった。

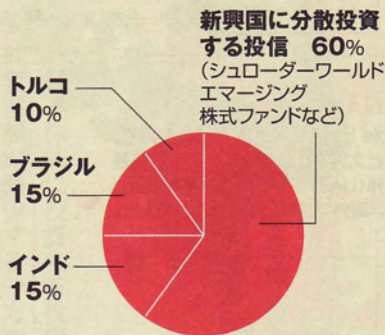
まず、新興国投資に振り分けるのは、資産の10～20%ぐらいが適当だ。新興国に全力投資するのは非常に危険なのでやめた方がいい。初心者は個別株ではなく、投資信託を中心にするのがいいだろう。新興国は値動きが激しいので、積み立て

で定期的に購入するのがお勧めだ。

投資する国は複数に分散するのが基本。深野さんのお勧めは右の例。1本で複数の新興国に分散投資する投信を柱(60%)にして、注目する国の投信を足していく考え方だ。柱にするのはBRICs投信などでもいい。

また、一般に新興国市場は非効率なので、インデックス投信よりアクティブ投信の方が投資妙味があるという。

深野さんお勧めの新興国投資配分



興国投資ではない。人気ブログ「幸せなお金持ちの日記」を運営するエッジさん(31歳)は、理論的な国際分散投資の一環として新興国ファンドを活用している。

そもそもエッジさんが初めて投資をしたのは、日本株ではなく中国株。しかし、投資を始めた時期が悪く、下げてはナンピンの繰り返して資産の約3割を失った。

転機となったのは、内藤忍さんの『資産設計塾』を手にとったこと。「一点集中の危険性を認識し、国際分散投資の重要性を学びました」。その後は、安定したポートフォリオ運用を行っている。

エッジさんは、今年に入り、インド、ブラジル、トルコなど複数持っていた新興国投信を売却。代表的な新興国指数に連動する海外ETF(株価指数連動型上場投資信託)に乗り換えた。「長期保有ならコストの低いETFの方が断然有利です」。今後も効率的な運用を研究していく考えだ。

吉田篤人さん(46歳)は、株式投資歴20年のベテラン投資家。これまで日本株一本だったが、'05年に話題となっていたBRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)投信を購入してみた。少額だったのであまり期待していなかったが、結果は1年で50%の上昇。昨年、

最ももうかつた商品となった。現在、吉田さんの資産の中で、新興国ファンドは3%弱。「リタイアするまでに10%程度にまで増やしたい」と計画している。

ただ、運用の中心は今後も日本株で行うという。「国際優良株は今後も業績が伸びそうだし、配当も増えるはず。趣味の優待株も続けたい。何より、勝手が分かっているのが安心できる」

新興国については、「これだけ急騰すれば必ず調整はあるはず」とベテランらしい読み。「相場が落ち着いたら、積み立てを活用してじっくり投資したい」という。

最ももうかつた商品となった。現在、吉田さんの資産の中で、新興国ファンドは3%弱。「リタイアするまでに10%程度にまで増やしたい」と計画している。

ただ、運用の中心は今後も日本株で行うという。「国際優良株は今後も業績が伸びそうだし、配当も増えるはず。趣味の優待株も続けたい。何より、勝手が分かっているのが安心できる」

新興国については、「これだけ急騰すれば必ず調整はあるはず」とベテランらしい読み。「相場が落ち着いたら、積み立てを活用してじっくり投資したい」という。

最ももうかつた商品となった。現在、吉田さんの資産の中で、新興国ファンドは3%弱。「リタイアするまでに10%程度にまで増やしたい」と計画している。

ただ、運用の中心は今後も日本株で行うという。「国際優良株は今後も業績が伸びそうだし、配当も増えるはず。趣味の優待株も続けたい。何より、勝手が分かっているのが安心できる」

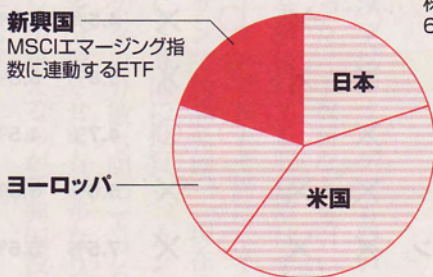
新興国については、「これだけ急騰すれば必ず調整はあるはず」とベテランらしい読み。「相場が落ち着いたら、積み立てを活用してじっくり投資したい」という。

style 3 理論派! 国際分散投資

エッジさんの投資暦

'04年	中国株を始める。セミナーを受講しまくり、ボーナスを突っ込む。成績はトントン
'05年	中国株が下げ続ける。ナンピン失敗で傷口を広げ、マイナス30%に。投資が嫌になる。
'06年	内藤忍さんの著書などで分散投資を知り、猛勉強。新興国の復活もあり成績が急回復
'07年	インド、ブラジル、トルコ、東欧など分散していた新興国投信をETF1本に乗り換え

エッジさんのポートフォリオ

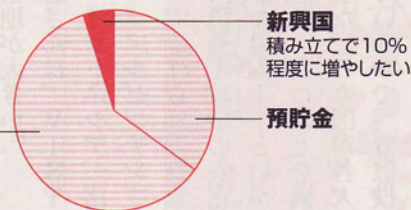


戦略 ポートフォリオのパーツの一つとして新興国を利用

style 4 投信をまったり長期保有

吉田さんのポートフォリオ

日本株
キャノン、オリエンタルランドなど、国際優良株と優待銘柄



戦略 毎月積み立てで長期保有。将来の資産に

スマートバンテージの概要

今回開設したのは、世界第2位の金融グループ、HSBC（上海香港銀行）ホールディングス傘下のHSBC香港の「SmartVantage（スマート・バンテージ）」という個人向け口座。これ一つで預金から株式・ファンド・債券売買がすべてオンラインででき、過去3カ月の平均残高が1万HKD以上なら口座維持手数料がかからない。口座開設には①パスポート②日本の現住所を証明する書類③1万HKDの現金が必要。現住所の書類は日本の免許証のほか、英文で書かれた銀行の残高証明書などでOKだ。

2泊3日体験ルポ!! 世界中の株式やファンドが買える

香港の銀行証券会社に口座を作る



日本に居ながら新興国の株やファンドに投資することはもちろんできる。だが国際金融都市・香港の金融機関に口座を持てば投資の選択肢が格段に増え、税制上のメリットも存分に享受できる。そこで本誌記者は海外口座開設のため香港に飛んだ。

(注)HKD=香港ドル

豆知識 2

HSBCのカードは香港にいる間に最低1回はATMに通す必要がある。それを忘れるとカードが有効にならず、日本に帰ってからネットバンキングを使えない。



手続きは拍子抜けするほど簡単

入り口の巨大エスカレーターで一つ上の階へ。係員に「えくす、きゅーず、みー。スマート〇※△□…」というと、専用ラウンジに案内してくれる。すべて個別ブースになっていて、とてもリッチな気分になる。



手続きをしてくれた担当の女性。最初に口座開設の目的や興味のある金融商品を聞かれ、その後、書類作成のための質問に移る。こちらの答えをその場でパソコンに入力し、記載内容に間違いがなければ最後にサインをして完成。ATMカードと、三つの暗証番号（ATM、テレホンバンキング、ネットバンキング用）、利用ガイドなどが手渡される。これで口座開設の手続きは完了。意外とカンタン。

まるでプライベートバンク

これで世界に投資できる

最後にイニシャルデポジット（最初の預金）を入金する。これでHSBCが扱う中国株や世界各国の投資信託、ADR、債券、金などへの投資、さらには香港市場の新規株式公開（IPO）にも参加できるようになった。



ついに海外口座ができた!

豆知識 1

口座開設のやり取りは英語か中国語。自信のない人は事前にメモを用意して担当者に見せるとスムーズだ。質問されるのは家族構成や職業、月収や資産規模など決まった内容だ。



いざ香港に出発!

成田→香港

1日目



2泊3日の予定で香港へ。この日の香港は気温32度、あいにくの雨で外は蒸し風呂のように暑い。既に銀行の閉店時間だったため、そのままホテルへ。

いよいよ口座開設へ

2日目



HSBC本店は世界の超一流の金融機関が集まる中環エリアにある。地下鉄の出口を出ると、すぐ目の前が本社ビル。あまりの巨大さに思わずビックリ!正面の大きなライオンの像が目印。

ここがHSBCの本社ビル!



ドバイの証券会社に口座を開こう



石田さんの著書『**ドバイ株完全投資マニュアル**』（バンローリング刊、税込1890円）

ザ・スリーピー代表の石田和靖さんはこれからはドバイの証券会社に口座を作り中東株に投資するのが面白いと話す。ドバイの上場企業は約100社で、時価総額は約18兆円。日本からの書類郵送で口座開設は可能だ。「ドバイは年率2ケタ成長を続け、湾岸6カ国が3年後の通貨統合に向けて動いている」など好材料も多い。

香港で買える、ユニークな金融商品

商品名(運用会社)	主な特徴
MENA Fund (米FMG社)	資源エネルギーの豊富な中東・北アフリカに投資する。過去3年のファンド価格の上昇率は約70%。1万米ドルから投資できる。
AUTO LOAN Fund (米AMERICAN PEGASUS社)	証券化された米国の中古車自動車ローンに投資する。年18%の利回りが目標で、うち12%が確定利回り。購入手数料はゼロ。
PREMIER(プレミア) (英FRIENDS PROVIDENT)	世界の運用会社が提供する100以上のファンドを組み合わせで作る自分年金。毎月500ドルから投資でき、ファンドの入れ替えも自由。
The Lyxor Dynamic Water Fund (Lyxor Asset Management)	世界の水関連企業に投資するウオーターファンド。設定は'07年4月で、過去3カ月の騰落率は7.6%。HSBC香港で購入できる。
アジアフリースタイル (HSBCインベストメンツ)	原則として資産の30%をアジア域内の国々、残りを米ドル建て投資証券に投資するファンド。HSBC香港に口座があればサイトで買える。

豆知識 3



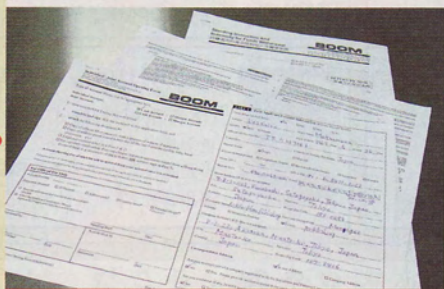
香港の銀行はほとんどが土日が定休日だが、HSBCは昨年から土曜の営業時間を平日と同じ16時半まで延長。サラリーマンでも土曜の朝に出発して午後には口座開設をし、翌日に香港観光をして日本に戻ることが可能だ。

次は
ネット証券の
口座開設に
挑戦!

証券口座
もできて
パワー倍増

記入内容はHSBCとほぼ同じ

書類に記入すると担当者がチェックしてくれる。記入内容はHSBCとほぼ同じ。口座開設の手数料200HKDを指定の銀行に振り込めば後日、IDとパスワードがメールで送られてくる。これで実際の取引が可能に。



地下鉄で2駅のBOOM証券へ



BOOM証券のホームページ
<http://home.boom.com.hk/>

HSBCの口座だけでも世界の株や投信の購入はできるが、より多くの商品に投資したい人はHSBCを資金の出し入れに使い、別に証券会社の口座を開くといい。香港のBOOM証券は世界13カ国の株や800本以上のETF、100以上の投信をネットで買える。おまけに投信の手数料は銀行より安い。両方あれば効果倍増だ。

アポ無しでも会社に入れた!

BOOM証券はネット専業なので店舗がない。それで直接本社へ行くことに。アポ無しだったのでドキドキしたが、すんなり中に入れてくれた。口座開設はHSBCの口座とパスポート、日本の運転免許証があればOK。記入書類は当然英語なので分からないところは勤で記入。さすがに心配だったので、頼むとコピーを取ってくれた。



日本にないファンドを買ってみる

3日目

せっかくなのでオフショアファンドを買うことに。香港にはファンドの正規代理店が数多くあり、そこでコンサルティングを受けて米FMG社のMENAファンド(上表参照)の購入を決定。申込書の記入方法などはフィナンシャルアドバイザーが丁寧に教えてくれ、代金は日本に帰国してから指定の銀行に振り込めばOK。よし、これで自分の立派な海外投資家の一員だ!!



ついにJTBも海外口座の開設ツアーをスタート!



チャイナワールドの上園良一総経理
チャイナワールドのホームページ
<http://www.chinaworld.com.hk/>

海外口座は作りたいが、ちょっと不安……。そんな人のためにJTBがベトナムと香港の口座開設ツアーを開始した。ホテル、送迎に日本語ガイドがセットで、費用は3万円台から。詳しくはJTB西日本(担当山口、☎06・6260・5060、m.yamaguchi930@jtb.jp)へ。また香港の旅行会社チャイナワールドが提供する口座開設サービスも便利だ。1金融機関につき1000HKD(約1万5000円)で通訳が同行し、道案内や書類の書き方などをアドバイスしてくれる。